

【SA法学で9割とる】

昇任試験特化型コンメンタール

昇任試験SAのうち法学の占める割合は約5割です。実務の刑事科目を加えればその割合はさらに大きくなります。多くの合格者が口を揃えて「**実務は水もの、確実にとれる法学で点数を稼ぐ**」と言うのは、このような出題傾向があるからです。

法学の参考書は、昇任試験用であると否にかかわらず、すべての項目が網羅されているのが通常です。もっとも、昇任試験で問われる事項は、皆さんが考える以上に限定されています。仕事と時間に追われる警察官にとって、試験範囲外の事項の勉強にまで時間を割かれるのはできる限り避けたいところです。

本特集は、各法律について、『**昇任試験で問われる事項に絞って**』条文番号順に解説を加えたものです(コンメンタール形式、逐条式)。条文を基軸にして情報を整理できるので知識に穴がなくなり、かつ、掲載条文を試験範囲内のものに絞っているため時間の節約も実現できます。さらには、解説はすべて過去の問題文をベースにしているので、読んでいるだけで過去問を解くのと同様の効果が得られます。

“**これだけでSA法学の9割がとれる!**”これが本特集のコンセプトです。